

19. 銀行制度

信用創造と金融政策

今回の課題

- ✓ 通貨の大部分をつくっているのは、日銀ではなく、市中銀行であるということを、信用創造との関連で明らかにする。
- ✓ 信用創造のメカニズムを明らかにする。
- ✓ 中央銀行の役割およびその金融政策の基本を明らかにする。

今回の内容

市中銀行と信用創造
中央銀行と金融政策


銀行がカネを借りたら預金は増える

- 貸し手が銀行に現金を預金すると、預金は増える(当たり前！)。
 - この例では、預金と同じ額だけ、銀行の金庫に現金が増える。

資産	負債
現金準備 	預金 

銀行がカネを貸しても預金は増える

- 借り手が銀行からカネを借りてもやっぱり預金は増える。
なぜならば
- 銀行による貸出は預金で行われるから

資産	負債
貸出	預金 

現金準備と預金

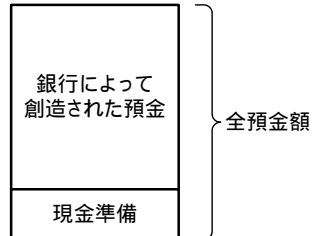
- 預金者の要求に応じて引きおろすことができないなければならない。
 - ↓ ゆえに
 - 全体をとって考えてみると、現金準備は必要である。
 - ⇕ しかし
 - 預金額と同額の現金準備が必要なわけではない。

信用創造

- [預金額] - [現金準備]
は銀行によって創造された預金
- 預金はどれも
通貨として機能可能

↓ ゆえに

- 中央銀行が発行する
現金通貨を越えて、
市中銀行は
預金通貨を供給



信用乗数

- 準備金を R , 準備率 r とすると, 通貨供給量 M は,

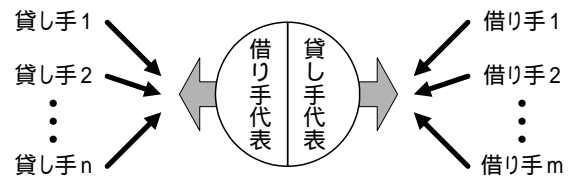
$$M = \frac{R}{r}$$

お金を作っているのはどこ？

- そもそも企業間取引では私企業である市中銀行が作りだした預金通貨が使われる。
- + しかも
- 預金通貨は信用創造によって現金通貨の何倍にもなる。
- ∴ ゆえに
- 通貨の大部分を供給しているのは、中央銀行ではなく、市中銀行である。

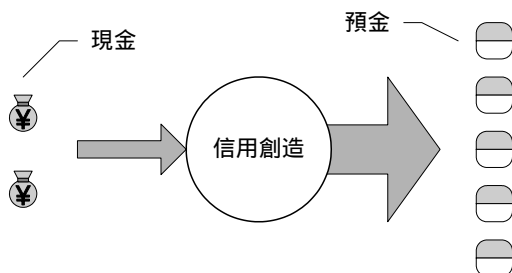
銀行は単なる仲介業者ではない(1)

- 借り手・貸し手を集中



銀行は単なる仲介業者ではない(2)

- 信用を創造



中央銀行

1. 銀行の銀行
 - 最後の貸し手
 - 現金準備に制約されずいくらでも貸出可能
2. 統一的発券銀行
 - 現金通貨を発行する唯一の銀行
3. 政府の銀行

金融政策の手段

通貨供給量を増大させるには、中央銀行は...

- 手形・債券の**買いオペ**
- **公定歩合**の引き下げ
- **法定準備率**の引き下げ

金融政策の効果

- 預金通貨を供給するのは市中銀行
 - 貸付資本を需要するのは民間企業
- ↓ ゆえに
政府・日銀による微調整は困難

今回の結論

- ❖ 銀行預金は、そっくりそのまま通貨になる。
 - ◆ 決済機構を形成
- ❖ 借りても貸しても預金は増える。
 - ◆ 信用創造 = 預金創造
- ❖ 銀行は、単なる仲介業者ではない。
 - ◆ 第一に、資金の集中
 - ◆ 第二に、信用創造